



★★★子どもたち、私達のかげがえのない命を守るために…！

11/12の土曜日。中学校の部活動のない日に合わせて、南中学区の4小（大谷、久能、大里東、宮竹）1中（南中）同一日程で、授業公開とともに「引き渡し訓練」が行われました。

11年前の東日本大震災級の巨大地震が想定されている「南海トラフ地震」は静岡県から九州地方の太平洋岸の広大な範囲でマグニチュード9、震度5～7という膨大なエネルギーの地震が起こるかもしれないことが予測されています。

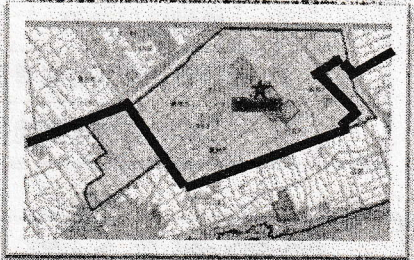
南中、宮竹小の学区では、駿河湾が近いことから津波の発生を想定しなければなりません。宮竹小の海拔は5.8メートル！静岡市ハザードマップで示されている、津波が起きたときに浸水する可能性が高いとされる「避難対象地域」（地図の太いライン）より海側の地域の子どもたちは、危険が解除されるまでは学校で「留め置き」となり、その後「引き渡し」となります。そのために学区の様子を知り、自分がどこの地域に住んでいるか知る必要があります。

当日は、多くの保護者の方々が参加してください、2時間目の授業参観の後、全校一斉オンラインの防災授業、そして引き渡しとなりました。密集を避けるために町内ごとに移動していただき、混乱もなく、円滑な引き渡しが行えました。ご兄弟がいる家庭では、宮竹小から南中に移動して中学校の中を歩き、引き渡しをしてくださいました。

実際に、大地震が起きたときに、私達はどうすれば良いのか、地震の規模や津波情報によっても異なりますね…。離れ離れになってしまったらどうするのか、実際に津波が来たらどうするのか東名高速道路の北側まで逃げるのか、高いビルを探すのか…この訓練を機に、家族ぐるみで日頃から話をしておくと思いいます。かけがえのない大切な命を守るために…

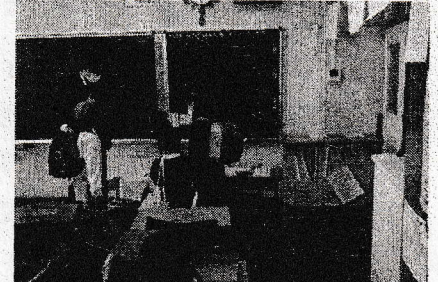


2011年3月11日東日本大震災



「巨大地震警戒」が発報されたとき
宮竹小学校ではどう対応するのか

- ◎教育活動を「中止」し「休校」
- ◎発表時は学校に「留め置き」
→南中学区の各校と連携し、「引き渡し」「集団下校」で下校
- ◎「避難対象地域」児童は津波警報解除まで「留め置き」



校長 伏見倫也

<お知らせ>

*南中学区健全育成会主催の子育て講演会を11/18(金)19:00～宮竹小学校体育館を会場に行います。子どものコミュニケーション能力を育てるために、私達大人の言葉やはたらきかけで変わる子育てに関する貴重なお話が伺えます！金曜日の夜ですがぜひ多くの皆様にお聴きいただきたいと思ひます。

*コロナ感染症第8波が確実にやってきました。今年はインフルエンザの感染も心配です。引き続き感染予防に努めましょう！手洗い、うがい、消毒、マスク、検温は毎日欠かさずに！

<11月後半の予定>

日	曜	主な予定	日	曜	主な予定
21	月	3年社会科見学(南警察署)	28	月	5年社会科見学①(三菱電機静岡工場)
22	火		29	火	5年社会科見学②(三菱電機静岡工場)
23	水	● 勤労感謝の日	30	水	音楽鑑賞会 宮竹キッズキャンパス
24	木	クラブ活動	東京レインボウ合奏団によるバイオリン・ビオラ・チェロ・ピアノの合奏を鑑賞する予定です。		
25	金	イングリッシュデイ 学校ボランティア読み聞かせ(5・6年)			

<12月前半の予定>

日	曜	主な予定	日	曜	主な予定
1	木	学年集会(低学年) クラブ活動(最終) 3年食に関する指導	7	水	児童集会 宮竹キッズキャンパス
2	金	月曜日課 学年集会(高学年) 代表委員会	8	木	わくわく給食 4年社会科見学(かわなび) 委員会活動
3	土	万が一の時に備え、是非ご参加ください。	9	金	イングリッシュデイ ALT 来校日 学校ボランティア読み聞かせ(1・2年)
4	日	地域防災の日	10	土	PTA 主催「たけっこわくわくコンサート」
5	月	学校預かり金振替日	12/15(木)・16(金)6年修学旅行(浜松方面)		
6	火	6年卒業制作銅鏡作り			

学校ボランティアの皆さん ありがとうございます

10月より学校ボランティアの活動が再開されました。

5年家庭科ミシン学習では、ミシンを初めて扱うために困っている様子の子供たちも多かったのですが、上糸のかけ方や下糸のつけ方など優しく丁寧に教えていただくうちにだんだんと自信を持って扱うことができるようになりました。

読み聞かせは、朝の10分ほどの短い時間のために用意していただいた本を読んでくださっています。ボランティアの皆さんの落ち着いた語り子供たちはしっかりと耳を傾け、本の世界に引き込まれていました。

朝の読み聞かせについて、現在ご協力いただける方を募集しています。

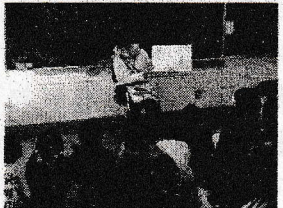
下記の日程でご協力いただける方は、学校までご連絡ください。ご応募お待ちしております！

11月25日(金)、12月 9日(金)、1月27日(金)、 2月10日(金)

いずれも8:25~8:35の10分間ほど

お問い合わせ：宮竹小学校教頭(青柳) 237-2231

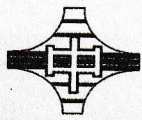
e-mail: miyatake-ee@shizuoka.ednet.jp



ベルマーク回収へのご協力 ありがとうございました

昨年度までPTAを中心に集めていただいたベルマークが、8万点を超えました。そこで、子供たちの学習環境整備や学習等に役立つ物として、校舎各階に1台ずつ計3台の掃除機と、ドッジボールを購入させていただきました。今後も宮竹キッズキャンパスでベルマーク回収を継続していきますので、引き続き回収へのご協力をお願いいたします。





言葉で伝え合おう

令和4年11月1日
静岡市立南中学校
学校便り 11月号

「暖かい朝日は必ず昇るから」

校長 長尾 剛史

南中では、南海トラフ地震に備えた防災学習の一環として、東日本大震災に被災された方の「お話を聴く会」を行っています。今年は、宮城県山元町立中浜小学校の校長先生でいらした井上剛先生をお招きし、全校生徒でお話を聴かせていただきました。

被災した中浜小学校は、宮城県の最南端、太平洋に面した小さな学校です。大震災によって発生した津波の高さは10m以上。想定していた避難場所の中学校には、津波到着予想時刻に間に合わないと判断した井上先生は、全校児童と職員、避難して来た保護者を、2階建て校舎の屋上倉庫に「垂直避難」させることを決断します。この対応により、4回の大津波の衝撃に耐え、津波を屋上床下ギリギリで通過させ、避難した90名全員を生還させることができたのです。先生が経験されたお話を、生徒たちは食い入るように聴き入っていました。先生のお話で、最も記憶に残った言葉があります。避難した屋上倉庫での出来事です。



来校された
井上剛先生



2011. 3. 12 中浜小の朝

宮城の3月は寒い。懐中電灯2本の灯りしかない暗闇の中で、90人が避難していました。そんな状況で「お腹がすいた」と訴える児童がいました。私はそのとき、全員に訴える必要があると感じました。そして短い言葉でこう伝えました。「今夜はここに泊まります。食べ物も水もありません。とても寒いですが、朝まで頑張ろう。暖かい朝日は必ず昇るから。」

現在中浜小の校舎は、震災遺構となっています。この出来事を現地ですべて初めて聞いたとき、私は強い衝撃を受け腰が抜けてしまいました。自分も同じ立場にあります。このような状況で、私はこんな言葉が言えるのか。覚悟を決めた人間が口にしたのは“希望”の言葉でした。「暖かい朝日は必ず昇るから」 私にとって忘れられない言葉です。

「お話を聴く会」終了後、校長室に生徒の感想が届けられました。そのいくつかを紹介します。

- ・ぼくは、地震と津波がいつ来るか分からないし、地震が起きて、津波が何分後に来るか分からないから、先に避難する場所を決めておくこともやはり大事だなと思いました。(7組)
- ・中浜小の人たちは、2階校舎の屋上に逃げて、運良く助かったと言っていました。本当に怖い思いをしたらどう思います。そんな怖い思いを自分も自分の周りの人もしないようにしたいです。そのためにDIG学習を見直してみたり、実際に避難ルートを歩いてみたり、地震が起きたときのシミュレーションをして備えておきたいです。(1年)
- ・東日本大震災が起きた頃、私はあまりにも小さく記憶にありません。しかし母は、幼い私を守らなければと、東北から離れた静岡にいてもそう思ったそうです。自分の命を守ることに必死になってパニックになると思うのですが、先生は、幼い子どもから大人まで90人の尊い命を守ってすごいと思いました。先生は冷静になって考えられたからこそ90人も守れたのだと感じました。(2年)
- ・私は絶対に地震のとき、どうしたらよいのか判断することができないと思います。だから誰かが言ったことや、周りの動きに合わせて避難するつもりでした。だけど今日のお話で、自分の命は自分でしか守れないから、自分で判断しなければならないことに気付かされました。(2年)
- ・私が今日のお話の中で一番印象に残ったのは「無駄な行動をたくさんできる人」という言葉です。無駄な事でもたくさんの方策をすることで、被害を最小限に抑え、東日本大震災のようなたくさんの犠牲者を出さないようにしたいです。(3年)
- ・津波はすごく恐ろしいものですが、生きる希望を持ち避難することが大切だと分かりました。足元まで波が押し寄せ、海に浮かぶ島のような状況で一晩を過ごすのはすごく辛いと思います。そんなときにみんなで励まし、行動できるのは中学3年生の私たちだと思うので、いつでも危機感を持って生活し災害に備えようと思いました。(3年)



後期スタート

42期生徒会がスタートします。南中生一人一人が力を合わせ、みんなが素晴らしいと自慢できる学校を創り上げていきましょう。南中の伝統や41期（木野会長）の思いを引き継ぎさらにより学校にしていきたいと思ひます。

42期生徒会長 望月翔太さん

【本部役員】

2年 岩崎楓さん 菅家朋宏さん 望月杏那さん
 岩崎瑞姫さん 佐口夢月さん 八木柚葉さん
 1年 山田理莉子さん 新谷芽生さん 山本莉璃さん 秋山湛太さん

【専門委員長】

生活専門委員長 2年 高塚万琳さん 環境専門委員長 2年 鈴木袖羽さん
 給食専門委員長 2年 大村陽花さん 保健専門委員長 2年 佐野日南乃さん
 図書専門委員長 2年 片岡敬太さん

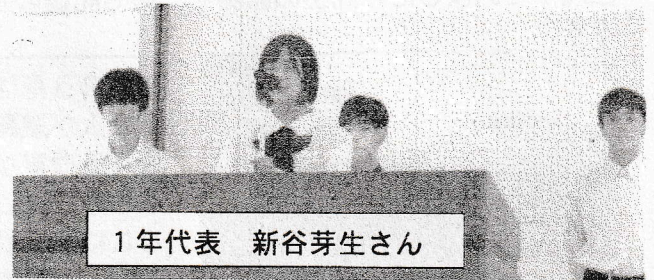


41期木野会長から引き継ぎ文章を受け取る42期望月会長

前後期切り替え式

各学年の代表生徒が全校生徒の前で話してくれました。その一部を紹介します。

- ・前期を振り返ってみると、中体連、定期テスト、駿風祭と本当に内容が濃いものだったと思います。そんな体験を通して私はレベルアップしたと思います。残りの限られた日々を仲間と一緒によりよいものにしたいです。そのためにも前期の生活を振り返って、後期の生活に生かせるように改善していきたいです。（植村太恒さん）
- ・私は、2年生の前期で、生徒会本部役員として活動してきました。いろんな仲間と話をしました。みんな、南中をより良くしたいと努力しているところは共通していました。「人の笑顔が一番の宝物」とある人に教わりました。私は必ず関わる人の顔を思い浮かべています。皆さんと一緒に、南中学校の更なる高みを目指してほしいと思います。後期、皆さんと一緒に生徒会活動を行えることを楽しみにしています。（鈴木玲於さん）
- ・私は前期学級委員・学年委員として仕事をしました。人をまとめることの難しさを感じることもたくさんありましたが、学級や学年のみんながまとまって、ひとつのことをなし得たときは大きな達成感を感じることができました。後期は来年春に先輩になるための準備期間です。一年生みんな「切磋琢磨」して高め合っていきたいと思ひます。（新谷芽生さん）
- ・卒業後の進路も考え始めました。将来は洋服を販売するお店で働きたいと思ひています。自分の課題を後期の間で少しでも改善していけるようにしたいです。中学校生活も半年過ぎました。今の自分より少しでも成長できるように、1日1日を大切に過ごしていきたいです。（堀井悠さん）



11月の予定

11月の予定			
1日(火)	学校保健委員会	13日(日)	テスト前部活なし(～15日)
3日(木)	文化の日	14日(月)	休業日(12日(土)振り替え)
4日(金)	SCT(計算)	16日(水)	後期テスト① 7組FD教室
7日(月)	生徒大会	17日(木)	後期テスト② 部活保護者会会長会
9日(水)	学校公開日(～12日) 集金日	21日(月)	生徒協議会
10日(木)	生徒会専門委員会 PTA運営委員会	23日(水)	勤労感謝の日
12日(土)	学校公開日 南中グループ引き渡し訓練	24日(木)	3年保護者会
		30日(水)	3年学力調査